



わたくしの

役目もの

なる

もの





わたくしの
役目
なるもの
も

しかし、わたくしは……

そしてなにより、

だんなさま
お客様に恋心を抱いてはならない。

『私情を挟む』と同意義だが、

恋心を抱く、それはすなわち、

しょうふ
娼婦としての死である。





—お待ちしておりました、旦那様—

わたくしの
役目
なるもの

今日もにぎわう塀の中の一角、

歓楽街を統制する
イシユタルファミリアの
ホームが

今のわたくしの
居場所。



この街では元気でいきのいい
アマゾネスがよく指名されて
”遊んで”おります。

わたくしはというとー

おにいさんよってかなーい？
ねーねー



指名は少ないものの
静かでおとなしい
性格で抵抗もしない
ため、お客様や同僚
にまでほとんどの
場合でキツく当たられ、
羽交い絞めにされ、
ほとんど暴力と言って
もいい
”遊び”とは程遠い
”仕打ち”を
受けております。

早く逃げ出したいと泣きそうな
感情を殺していたそんなある日、

指名

サ
ン
ヨ

ウ
ノ

春
姫

指名が入りました。

今日もあの荒っぽい
冒険者様でしょうか、
乱暴な商人様でしょうかと
怯えておりましたが、

今日は違いました。

わたくしより少し低いぐらいの身長、
こんなところには到底来そうにない
容姿に優しそうな顔つきの青年^{ヒューマン}。

でもやっぱりわたくしは、
イジメられるのでしょうか……。






お待ちして
おりました。
旦那様
準備は済ませて
おります




何をされるのでしょうか、



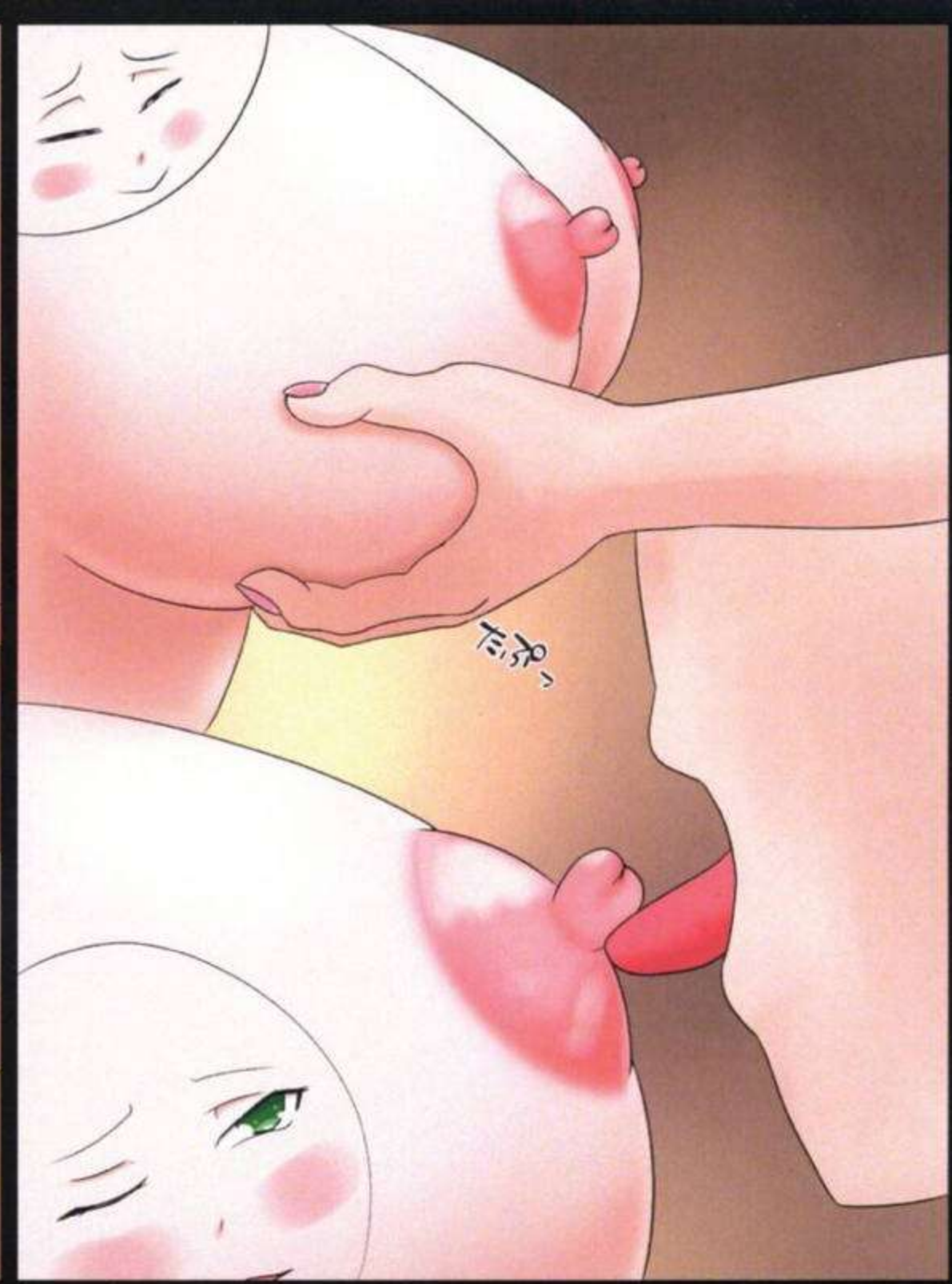
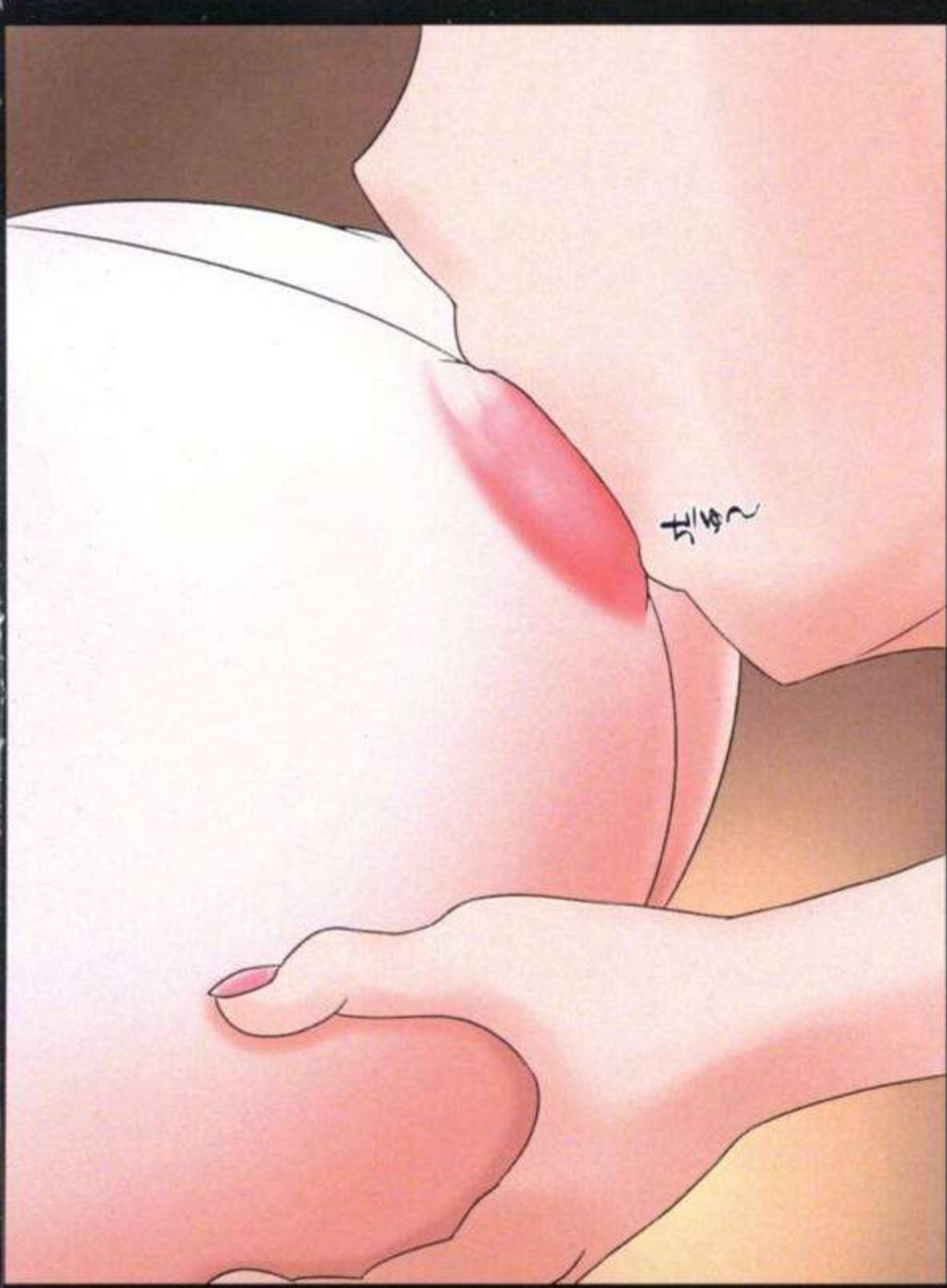
怖い、



そう怯えておりましたが、



今日の旦那様は違いました。





おおきい……

マイク

スポン
降ろしますわ



今までのどなたよりも、
遥かに……

では旦那様、
下を失礼
いたします。

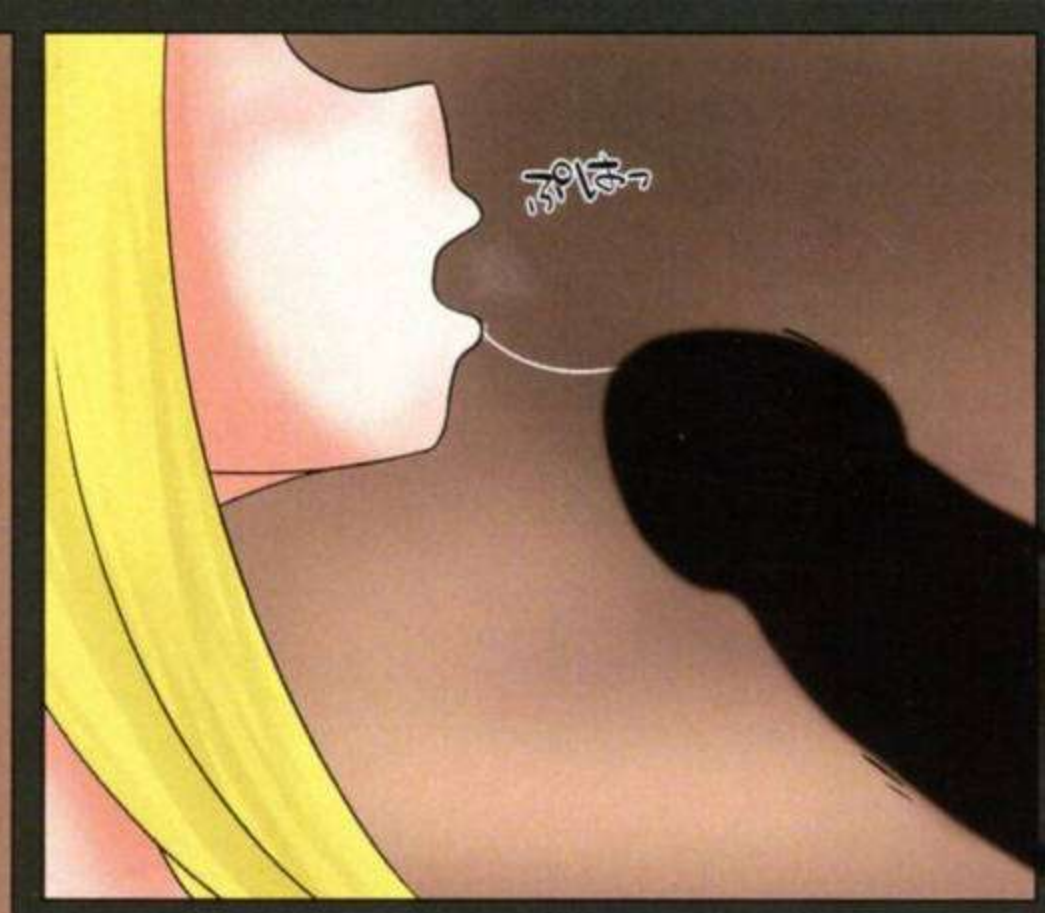
その見たこともない大ききの
肉棒を握りしめ、
そして口に含みました。
顎が外れそうな太さ、
喉に当たる長さ、
唇に引っかかるカリ高、
重量感のある囊、
そして濃い雄の匂い。
舌の上で転がしていくうちに、
わたくしは興奮の渦へと
誘われていきました。

43



「奉仕させていただきます」

お次はわたしのおっぱいでの



ふんっ



わたしのパイズリは



いかがですか？

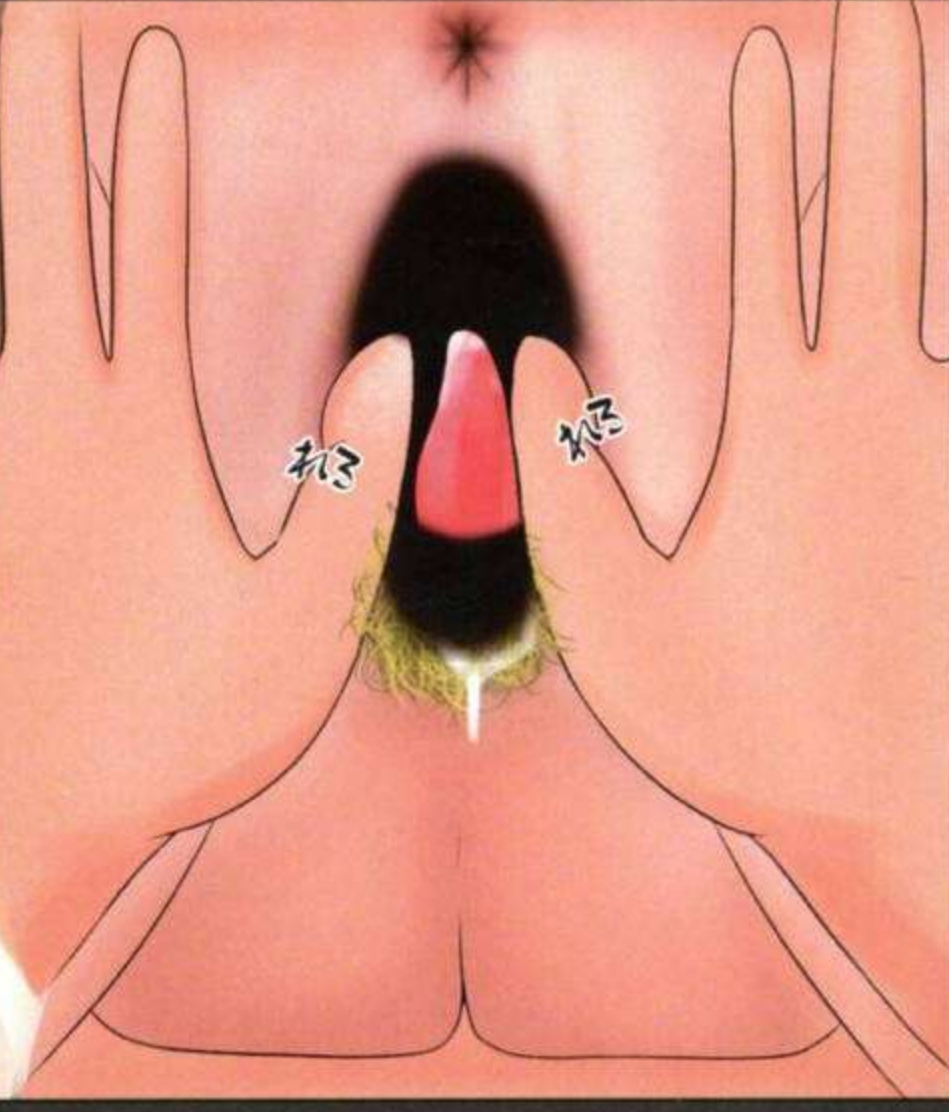
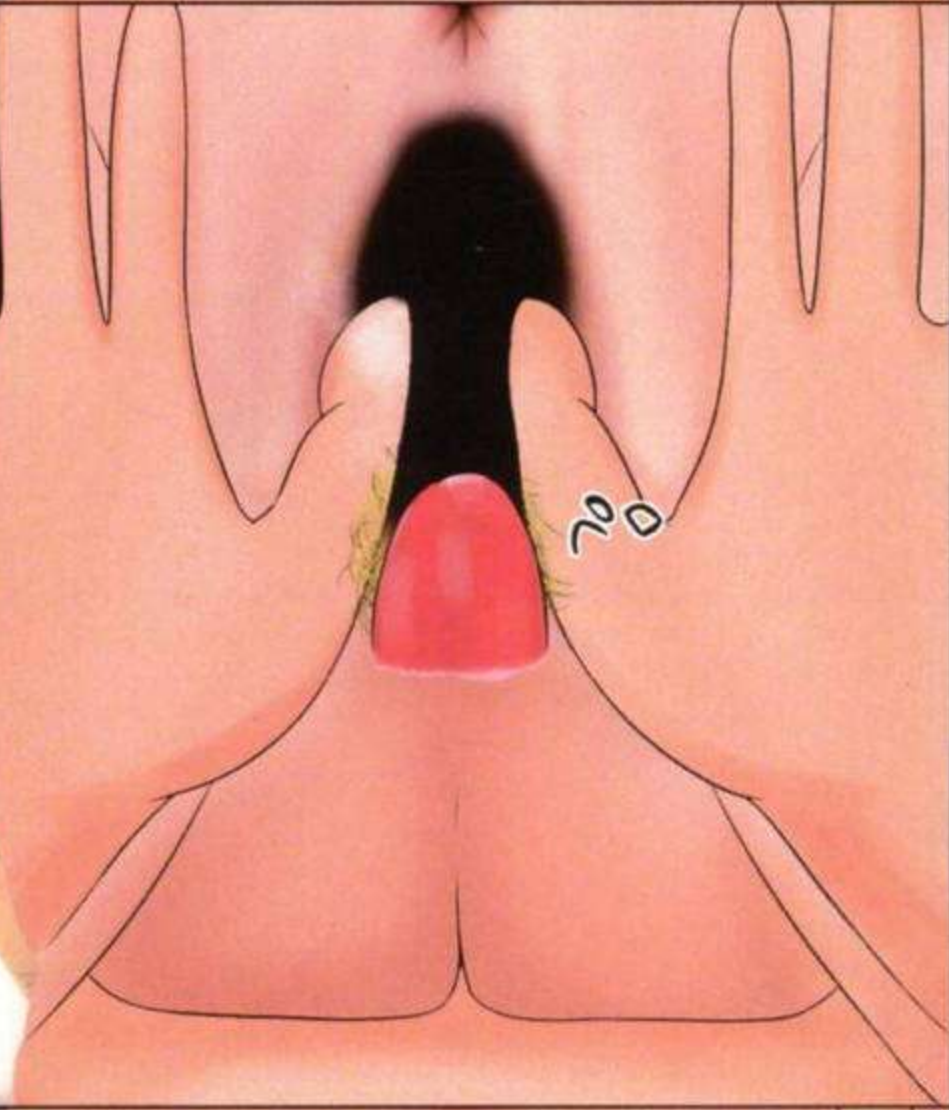
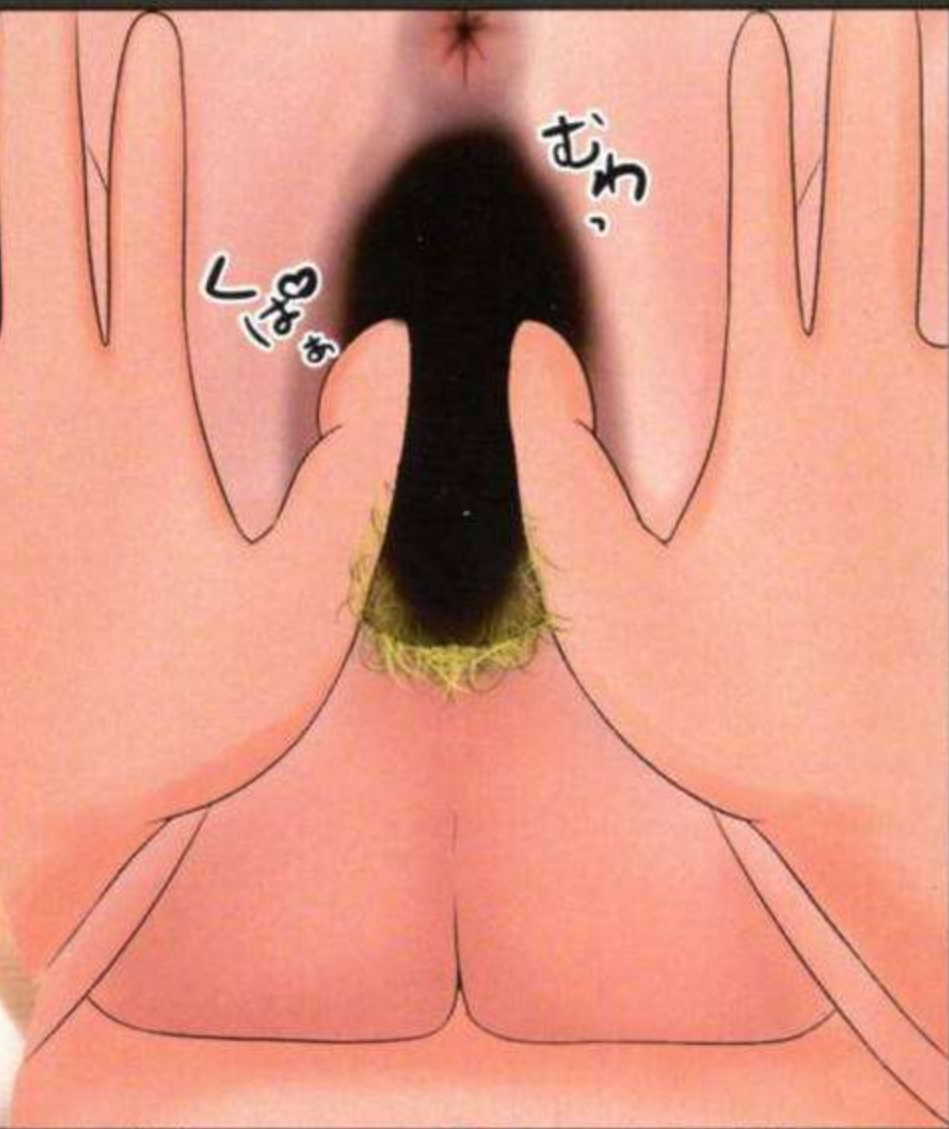
ふん

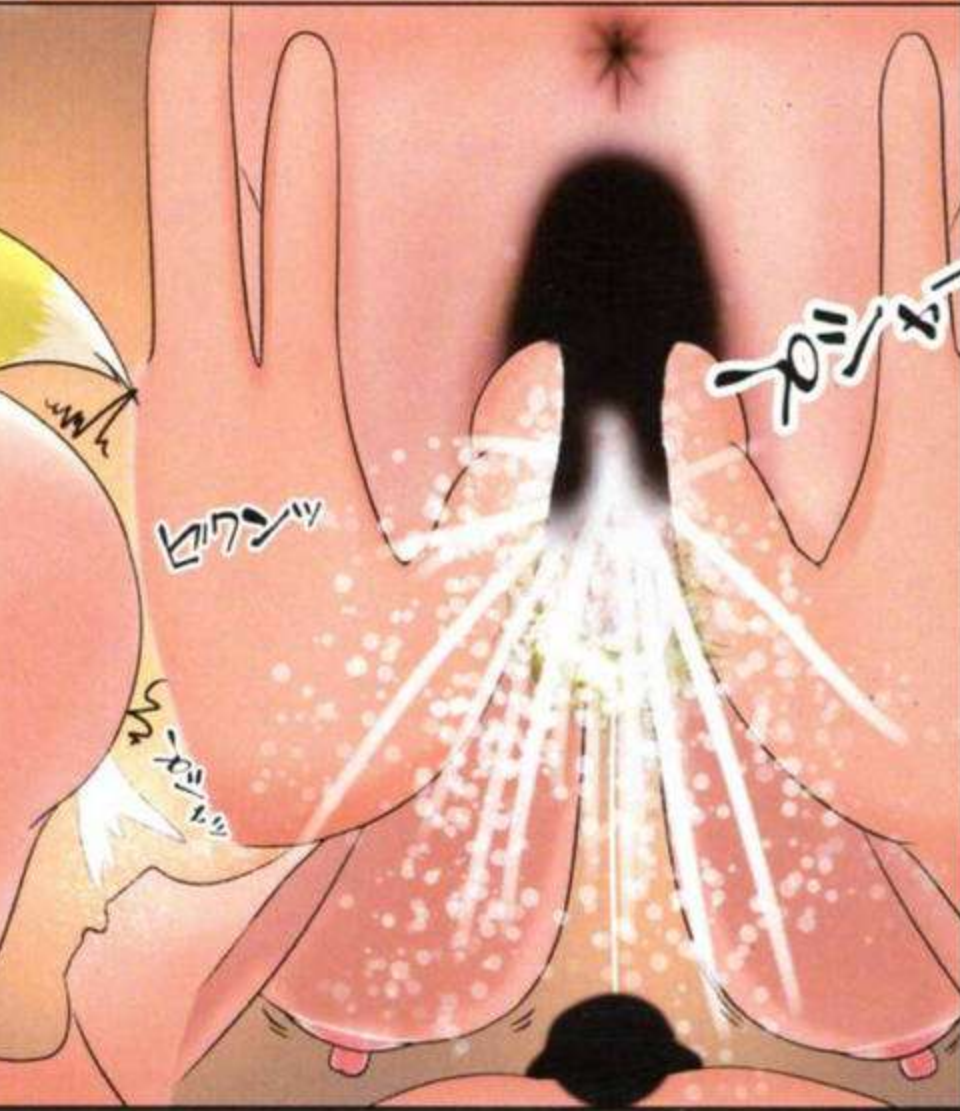
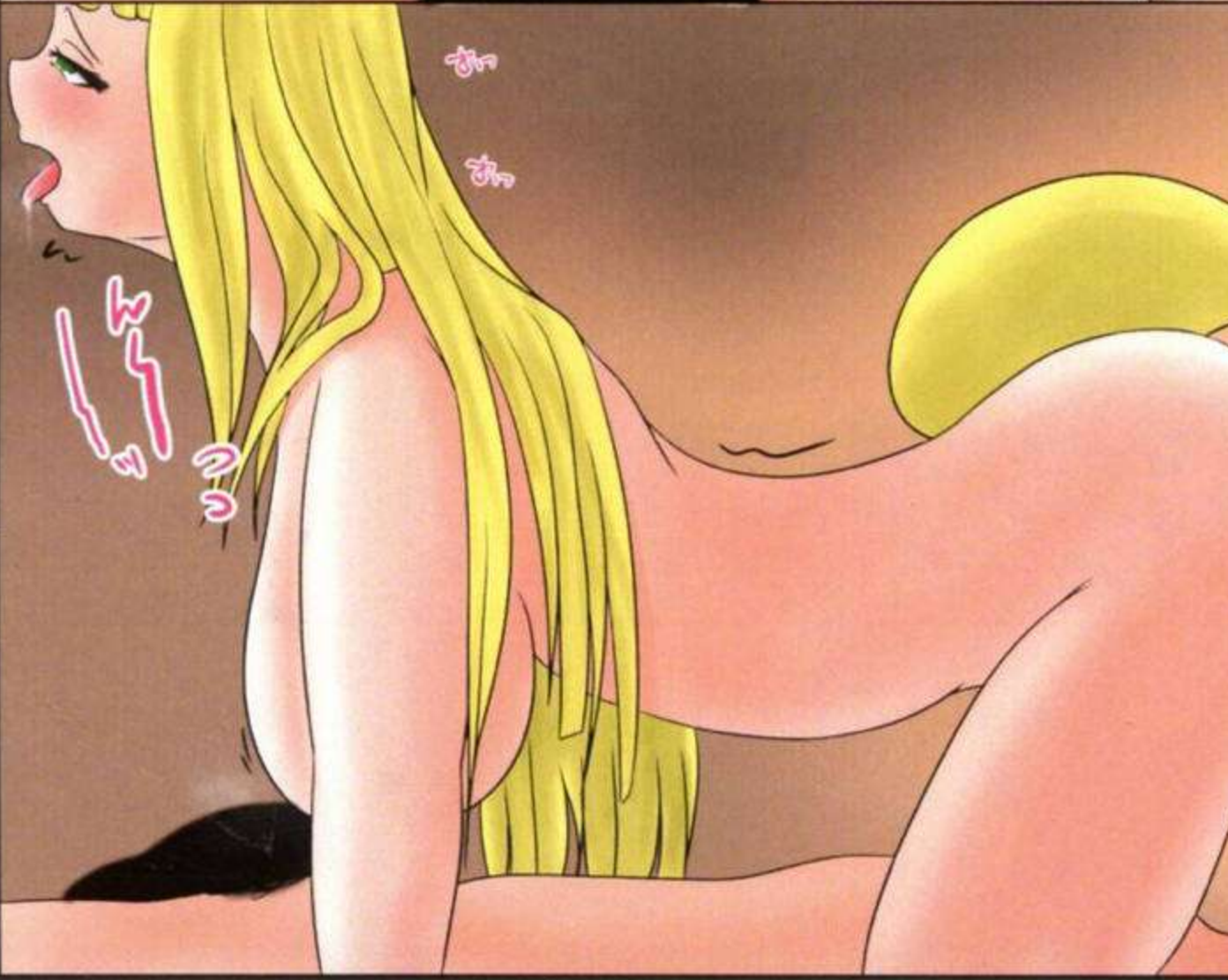
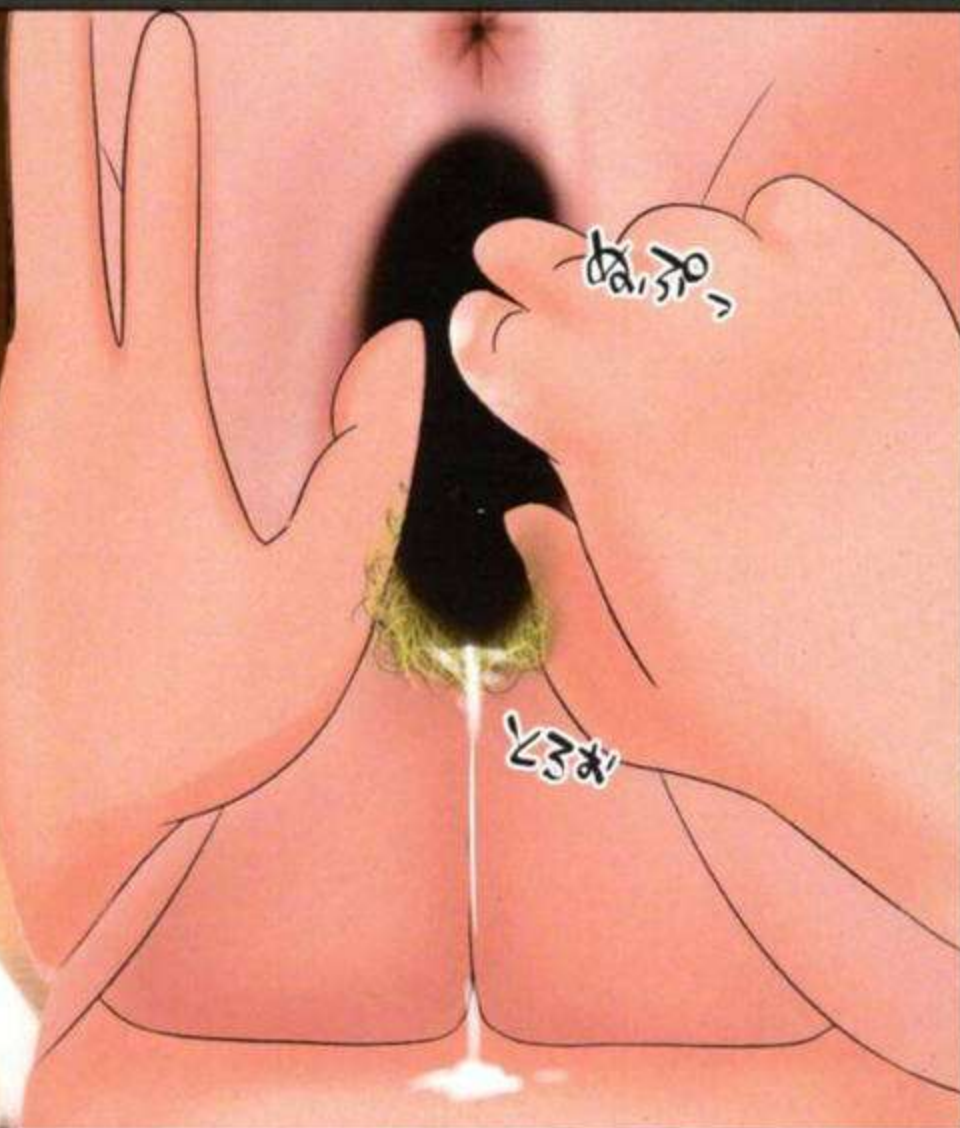
ふん

ふん

ふん









旦那様もう意地悪です。



ささやくささやく

旦那様

それはとても、
激しくも
やさしく、
とろけそうな

いつまでも
抱かれていたい
そんな気持ち
に
させてくれた
ました。

奥まで当たって
気持ちいいです

ほんっ

ほんっ

ほんっ

ほんっ

ほんっ

ほんっ





いつしか
”遊び”である
ことを忘れ

ぞちっ

ぬちゅ

ふんふん
しゅん
なな

は

んん

ん

あっ

あっ

あっ

本気のまぐわいを
楽しんでいたの
でございませす。





わたしが拭き取って
お口で拭き取って
さしあけます

しゅる



まだ子種が残って
あります、旦那様

ん

ん

ん



この殿方からは
恐怖を感じない。

こんなにはやししく
されるのは、
初めてでしょうか……

ん
ん

ん

ふんぞり

元々お強い戦闘娼婦
ばかりのイシユタル
ファミリアで、
非戦闘員である
わたくしだけが
浮いておりました。

他の皆様と
比べて力の
ない一般的な
娼婦のしは、
わたくしは、

一定のお客様にご指名を受けても
みじめにイジメられるだけ。
それが恐ろしくて、毎日が怖かった。
でも――

いほっ

ふ

んっ



大嫌いだった
この役目が

この居場所が

こんなにも
気持ち悪い
ものだった
なんて



そしてその後も
我を忘れて
時を忘れて

何度も何度も
本気のまぐわいを
楽しんだのでした。



そして月日が経ち、
何度目のご指名を
いただいた時でしょうか。

終わり際にわたくしは、
その青年に
一緒に外の世界へ出ようと、
求婚されたのであります。

今はご希望に
沿うことはできません。

でもいつか、
わたくしを旦那様の元へ
連れて行ってくださいませ

わたくしは娼婦、
わたくしの役目は
"旦那様を快楽で
満足させる"こと。
そこに私情を
挟んでは
いけない。

わたくしは正しい選択をしました。
掬通りの"正しい"選択を

でもなんでしよう、
この胸に残るモヤモヤは、
引っ掛かるような苦しい思いは。

そう、その今までされたことの
なかった"やさしさ"に、

わたくしは、
恋心を抱いてしまったので
あります。

またのご指名、お待ちしております。



ほとんどのの方が初めまして、おてんとさんと申します。
お名前覚えていただけると嬉しいです。

描いてるはいいものの、最近はほとんどウマ娘ばかりでして…。
でも春姫ちゃんもひっそりと描いています。

さて今回は思い切って漫画を描いてみよう！と描いてみたのですが、
イラスト描くのとまったく勝手が違っておっちゃ難しかったです…。
みんなコミケの度にこんなことやってんのか…。

2022年の5月から描き始めた春姫ちゃんですが、なんと、26枚。

差分・まとめを合わせると30枚以上(!?) いや少ないか

しかし、当初からはだいぶ絵柄も塗り方も、変わりましたね…こうして
進化していくのかという過程を見ているようで逆におもしろいです。

一旦区切ってまとめとして本にしたいなと思っていたのですが、入稿後も
結局ずっと描いてるんですよね。

1番推しのリリルカや2番推しアナキティもエッチな姿描きたいんですけど
ねえ、先に思い浮かぶのは春姫ちゃんなんですよねえ。使いやすいn(殴

雑談はこれくらいしまして、今の度はこの本を手にとっていただき、
ありがとうございます。

これからもより”らしい”春姫ちゃんが描けるように頑張ります。

お手に取っていただいた、お手伝いいただいた皆様に最大限の感謝を。

企画・構成

おてんとさん 

pixiv : pixiv.net/user/70325133
misskey : misskey.io/@otentosan
Twitter (X) : @otentosan_

印刷・製本 株式会社グラフィック 様

2024/8/11 C104 初版

発行・サークル



あなたの疲れた心に癒しを与える 観るお薬・電子ドラッグ

いつも心のおそばに **電子せいやく所**

18歳未満の方の本誌の閲覧・購入はご遠慮ください。
無断転載・複製・web上で公開等の二次配布は禁止します。



みみ

見ない

ください

ませ

ませ

!!

はわわわ

わわわ

わたくしの

役目もの

